

■2022 年度 S 日程 卒業見込者特別入学試験・一般入学試験

「小論文」問題の出題趣旨・解説

【出題趣旨】

〔問〕は、問題文を読解し、デジタル・テクノロジーの発展とその社会実装がもたらす利益およびそれに伴う監視社会化等の問題を踏まえ、その発展・運用の方策を考察させ、自分の見解について論理的・説得的に論述する能力を問うものである。受験者には法曹を目指すために必要な読解力、考察力、そして論理的な文章表現力を求めている。

【解説】

1 解答にあたっての注意事項と解答方法について

解答にあたっては、問題表紙に、①解答の訂正方法(斜線又は横線での消去と次のマス目からの書き直し)、及び、②記入方法(記入欄・横書き)が指示されており、当然それに従った解答が求められる。

この指示に従っていない場合、例えば、訂正した同じマス目の中や余白に訂正後の解答を書いたり、解答欄外に訂正後の解答を書いたりするなど、指示に従わずに解答を訂正している場合は、その部分は記入がないものとみなすなどして採点を行った。

また、誤字・脱字は言うまでもなく日本語能力の問題であり、採点基準に含めている。

2 〔問〕について

本文では、特に中国における健康情報の管理、顔認証技術によるデジタル監視網構築、5G 通信網の整備、医療における AI 画像診断等のデジタル・テクノロジーの進化と社会実装が列挙されており、他方で、AI やビッグデータの活用によるウイグル族の監視や全国規模での生体情報収集に対する危惧が指摘されている。デジタル技術が素晴らしい利便性をもたらすと同時に極端な監視社会をもたらしかねない危険性を踏まえたうえで、同技術を有用で適切な方向に発展させるために考え得る様々な規制や制度設計を自由に検討して論じることが求められる。その際、著者が挙げた ELSI (倫理的、法的、社会的な課題の解決) の観点も考察の手がかりになるだろう。

以 上